

令和4年度

青森県地域年金展開事業 取組状況

(令和4年11月30日現在)



日本年金機構

Japan Pension Service

青森年金事務所

(青森県代表年金事務所)

目 次

1 地域連携事業

- (1) 事業の取組状況
- (2) 総括・分析と今後の対策

2 年金セミナー事業

- (1) 事業の取組状況
- (2) 総括・分析と今後の対策

3 地域相談事業

- (1) 事業の取組状況
- (2) 総括・分析と今後の対策

4 年金委員活動支援事業

- (1) 事業の取組状況
- (2) 総括・分析と今後の対策

5 「ねんきん月間」「年金の日」の取組状況

6 各年金事務所の取組状況

7 第2回青森県年金ポスターコンクールの取組状況

8 青森県地域年金事業運営調整会議の開催

1 地域連携事業

(1) 事業の取組状況

① 自治体との連携

- 各年金事務所において、オンラインを使用した非対面型の管内市町村国民年金事務担当者研修会を実施し、国民年金保険料納付状況等の説明、国民年金の適用・保険料関係事務及び年金給付関係事務について疑問点の整理や意見交換を行いました。

国民年金収納対策、お客様サービスの向上につながるよう連携強化を図りました。

○ 研修会の実施回数及び出席者数

令和 4年11月30日現在

事務所名	令和3年度		令和4年度		増 減	
	実施回数	出席人数	実施回数	出席人数	実施回数	出席人数
青 森	4回	28名	2回	10名	2回減	18名減
八 戸	2回	21名	2回	10名	増減なし	11名減
弘 前	2回	46名	4回	32名	2回増	14名減
む つ	3回	40名	1回	4名	2回減	36名減
合 計	11回	135	9回	56名	2回減	79名減

- 市町村を訪問し、国民年金事業及び地域年金展開事業に関して情報提供のうえ、理事者(首長)等と意見交換を実施しました。また、「予約による年金相談」周知用チラシ・ポスターの設置について協力依頼しました。
- 市町村の国民年金事務担当者向けに、情報誌「かけはし」を発行し、制度や事務手続き、各種お知らせを周知しました。(奇数月発行)
- 防災無線やケーブルテレビなどの広報媒体を活用した制度周知の協力依頼を実施しました。
- 全市町村に「わたしと年金」エッセイ募集ポスターの掲示、リーフレット設置の協力依頼を実施しました。

また、11月の「ねんきん月間」周知用ポスターの掲示、リーフレット設置の協力依頼を実施しました。

- 成人式における国民年金制度リーフレットの配布について協力依頼を実施しました。
- ねんきんネットの利用促進について、市町村国民年金担当者研修実施時にチラシを配布し、利用拡大に向けた周知の協力依頼を実施しました。

② 関係団体との連携

- ・青森県社会保険労務士会との打ち合わせを毎月行い、各年金事務所の相談窓口の業務委託状況や課題を共有し、届書等の取扱いにかかる留意事項について、会員の社会保険労務士へ周知を図っていただきました。
- ・青森県社会保険労務士会主催による研修会・制度説明会の実施及び一般財団法人青森県社会保険協会主催による研修会・制度説明会へ講師派遣を行いました。
- ・「街角の年金相談センター青森(オフィス)」の運営及び各年金事務所の年金相談窓口の業務委託について、青森県社会保険労務士会と連携し、お客様に身近で便利な年金相談窓口として利用拡大を図りました。
- ・一般財団法人青森県社会保険協会発行の「社会保険 あおもり」に記事の提供を行い、事業所に対して社会保険制度及び予約制による年金相談の周知を図りました。(偶数月発行)

○ 関係団体における制度説明会の実施状況

令和 4年11月30日現在

団 体 名	実施回数	参加者数	開催事務所	内 容
一般財団法人青森県社会保険協会	4回	72人	全事務所	初任者社会保険事務研修
青森県社会保険労務士会十和田支部	1回	15人	八戸	年金制度について

③ その他特徴的な取組

【青森】

- ねんきんネット周知のため、周知用ポスター掲示、リーフレットの設置協力依頼を行いました。
 - 管内市町村
 - 管内職域型年金委員
 - 県内全域に店舗を有する大規模小売店

【八戸】

- 駐留軍労働者労務管理機構三沢支部主催「退職準備研修会」において、退職後の年金制度等について説明を行いました。（48名）
- ねんきんネットの利用促進のため、出張年金相談や年金セミナーなどの機会を活用し、利用促進用リーフレットの配布を行いました。
- 新規適用事業所に対し、ねんきんネットリーフレットを送付しました。
- 田子町ケーブルテレビへの年金広報を実施しました。

【弘前】

- ・管内適用事業所に対し、ねんきんネット利用に係るリーフレットを送付しました。
- ・FM放送へ年金事務所職員が直接出演し、年金制度の説明を実施しました。

【むつ】

- ・社会保険委員会との共催により制度説明会の研修を実施しました。
- ・管内の市町村へねんきんネット利用に係るリーフレットを送付しました。

(2) 総括・分析と今後の対策

総括・分析	今後の対策
<ul style="list-style-type: none">・市町村との意見交換の機会として、理事者への協力依頼を実施し、一層の連携協力体制の強化を図りました。また、担当者研修会では、意見交換を行い日頃の疑問点を整理することができました。・市町村国民年金担当者研修は非対面型のオンラインで実施し新型コロナウイルス感染防止及び受講機会の拡大を図りました。・関係団体からの研修会や講習会へ講師を派遣し、年金制度等の周知を行いました。	<ul style="list-style-type: none">・市町村のニーズを聞きながら事業計画に沿った研修等を実施してまいります。また、研修に限らず、市町村職員との意見交換の場を設けて一層の連携を図ってまいります。・制度説明会については、新型コロナウイルス感染症防止及び受講機会の拡大等の観点から、非対面型のオンラインによる実施について推進してまいります。・ねんきんネット利用については関係機関に対する協力依頼を実施し、引き続き普及拡大に努めてまいります。

2 年金セミナー事業

(1) 事業の取組状況

① 年金セミナー開催に向けたアプローチ

- 青森県教育庁や高等学校長協会等の協力を得て周知を図り、高等学校に対し実施要請を行いました。また、障害年金の周知取組として、特別支援学校へ実施要請を行いました。
- 地域年金推進員を活用し、高校へ非対面形式(オンライン・DVD動画)を含めて実施要請しました。＜アプローチ数：320^{*}回(令和3年度:308回)＞ ※文書・電話勧奨含む

② 年金セミナーの実施

- 上記アプローチの結果、下記のとおり14校で実施し、12月以降に51校の年金セミナー実施を予定しています。

○ 年金セミナー実施状況(事務所別)

令和4年11月30日現在

事務所名	令和3年度	令和4年度		増減
		4月～11月	12月以降	
青 森	21校(22回)	3校(3回)	17校(17回)	1校減(2回減)
八 戸	22校(22回)	7校(7回)	17校(17回)	2校増(2回増)
弘 前	17校(18回)	3校(3回)	11校(11回)	3校減(4回減)
む つ	7校(7回)	1校(1回)	6校(6 回)	増減なし(増減なし)
合 計	67校(69回)	14校(14回)	51校(51回)	2校減(4回減)

※()は実施回数

○ 教育機関別実施内訳

令和 4年11月30日現在

教育機関	令和3年度	令和4年度		増 減
		4月～11月	12月以降(予定)	
大学、短大	3校 (443名)	3校 (328名)	0校 (0名)	増減なし (115名減)
各種学校	7校 (313名)	4校 (171名)	2校 (95名)	1校減 (47名減)
高等学校	53校 (5,406名)	7校 (912名)	48校 (4,294名)	2校増 (200名減)
特別支援学校	4校 (124名)	－	2校 (49名)	2校減 (75名減)
合 計	67校 (6,286名)	14校 (1,411名)	52校 (4,438名)	1校減 (437名減)

③ 年金セミナーアンケート結果

※()は受講者数

アンケートに協力をいただいた10校(818名)の結果において、年金に対するイメージが大幅に改善されています。

○ 「とても良い・まあ良い」と回答した者の割合

令和 4年11月30日現在

教育機関	受講前		受講後	
大学・短大	39.0%	(128名)	90.5%	(297名)
各種学校	50.4%	(60名)	90.8%	(108名)
高等学校	47.2%	(175名)	93.8%	(348名)
合 計	44.4%	(363名)	92.1%	(753名)

※ 詳細は、別添「参考資料1」『年金セミナー アンケート集計結果』を参照。

④ 関係団体との協力連携

- 青森県との協力連携

青森県教育庁及び総務部総務学事課に対して、県内の公立高等学校及び私立中学校・高等学校における年金セミナーの実施、及び「わたしと年金」エッセイ募集について協力依頼を実施しました。

- 青森県内市町村教育委員会との協力連携

県内中学校における「わたしと年金」エッセイ募集について、協力依頼を実施しました。

- 自治体、関係機関との協力連携

青森県立図書館、青森市民図書館に対して、「わたしと年金」エッセイ募集のポスター掲示の協力依頼を実施しました。

- 青森県商工会議所連合会、青森県商工会連合会との協力連携

県内の各商工会議所及び商工会に対して「わたしと年金」エッセイ募集について、ホームページへの掲載とリーフレットの設置等の協力依頼を実施しました。

⑤ 令和4年度「わたしと年金」エッセイ応募結果

- 青森県内では一般から1名、中学生から1名の応募がありました。

○「わたしと年金」エッセイ全国応募件数

年度	一般	学生			合計
		中学生	高校生(専門学校等)	大学生	
令和3年度	70名	39名	1,433名(0名)	54名	1, 596名
令和4年度	89名	190名	1,680名(0名)	49名	2, 008名

⑥ 地域年金推進員の活用

学校との連絡・調整や生徒へのプレゼン能力に長けた教職員OB2名を「地域年金推進員」として委嘱し、県内を青森・弘前年金事務所管内と八戸・むつ年金事務所管内の2地区に分け、高等学校を中心に年金セミナーの実施及び「わたしと年金」エッセイの募集について、協力依頼を実施しました。

令和3年度に引き続き2名の地域年金推進員によるきめ細かなアプローチを継続的に実施し、効果的に年金セミナー開催へつなげています。

(2) 総括・分析と今後の対策

総括・分析	今後の対策
<ul style="list-style-type: none">・ 新型コロナウイルス感染症防止に対応するため従来の対面による年金セミナーの他にDVDやオンラインでの年金セミナーを実施しました。・ 令和4年度の「わたしと年金」エッセイについては、高校生からの応募者はありませんでしたので、拡大に向けた取り組みが必要です。	<ul style="list-style-type: none">・ 従来の対面による年金セミナーは、新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底したうえで行います。 また、非対面オンライン形式やDVDによる実施のアプローチを進めてまいります。・ 「わたしと年金」エッセイ募集について、関係団体への協力依頼と、県内教育機関への働きかけを引き続き行ってまいります。

3 地域相談事業

(1) 事業の取組状況

① 市町村での出張年金相談

- 年金事務所に直接出向くことが困難なお客様の利便性向上や市町村の要望により、県内3事務所における定期的な出張年金相談について、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う県内の感染者の発生状況を踏まえ、市町村と開催可否を検討しながら令和4年4月から令和4年11月で計画していた全36回の出張相談を実施しました。
- 出張年金相談の実施については、実施市町村での周知や広報誌への掲載を依頼するとともに、一般財団法人青森県社会保険協会発行の会報誌、日本年金機構発行の広報誌に掲載し、予約制によりお客様にお待ちいただくことなく効率的に年金相談が実施できました。

また、各出張年金相談においては、街角の年金相談センター青森(オフィス)から1名を配置していただき、共同で実施しました。

○ 市町村での出張年金相談の実施状況

令和 4年11月30日現在

事務所名	実施場所（実施日程）	相談者数	
		令和3年度	令和4年度
青 森	野辺地町(偶数月)	51名	40名
	七戸町(奇数月)	22名	21名
八 戸	十和田市役所(毎月1回)	120名	88名
	三沢市(偶数月)	57名	37名
弘 前	五所川原市役所(毎月1回)	113名	81名
	つがる市役所(毎月1回)	114名	81名
合 計	開催36回	477名	348名

② ハローワークにおける国民年金説明会の実施状況

- これまで、各ハローワークで実施されていた集合形式の離職者説明会については、新型コロナウイルス感染症の流行後、令和2年3月から県内全てのハローワークにおいて中断されました。

現在、各ハローワークの離職者説明会は、1回あたりの人数制限を行い実施回数を増やすなど感染防止対策を図りながら再開されていますが、時間を短縮する必要があり、従来のように年金事務所職員が直接説明をする時間をいただくことができないため、その対応として、ハローワーク職員に、離職後の年金手続きに関するチラシや申請書等について、配布の協力をいただいております。

また、やむなく事業閉鎖される事業所で開催されたアシストハローワーク(ハローワークの臨時窓口)において、離職後の国民年金の手続きについて説明の時間をいただき、周知を図ることができました。説明会終了後には、手続等の相談会も併せて実施しました。

○ アシストハローワークの実施状況

令和 4年11月30日現在

事務所名	アシストハローワーク	回数	参加者数	相談者数
八 戸	ハローワーク八戸	3回	39名	15人
合 計		3回	39名	15人

③「ねんきんネット」の利用促進

- 各年金事務所において、年金相談や国民年金手続きで来所された方を始め、年金委員や適用事業所(被保険者)等へ「ねんきんネット」利用に必要なアクセスキーの申し込み協力依頼を行い、ユーザーID取得者数の拡大を促進してきました。引き続き、お客様の利便性の向上や事務の効率化を図るために取組を進めていきます。

○ 目標達成状況(ユーザーID取得状況)

令和 4年11月30日現在

事務所名	目 標	実 績	達 成
青 森	396	321	81.06%
八 戸	498	324	65.06%
弘 前	452	373	82.52%
む つ	100	59	59%



(2) 総括・分析と今後の対策

総括・分析

- ・コロナ禍での出張年金相談実施にあたり、地域住民の利便性の確保と、新型コロナウイルス感染症防止対策を考慮しながら市町村と連携して行いました。また、街角の年金相談センター青森(オフィス)と連携し共同で出張年金相談を実施しました。
- ・コロナ禍により、ハローワークの離職者説明会で直接説明はできていませんが、アシストハローワークにおいて、離職後の国民年金手続きについて周知を図ることができました。

今後の対策

- ・出張年金相談については、市町村からの要望等も踏まえ、お客様の利便性向上のため街角の年金相談センター青森(オフィス)と連携し引き続き実施してまいります。
- ・離職後の国民年金手続きや特例免除制度の周知等を図るうえでは、ハローワークでの説明会は貴重な機会であり、引き続き協力連携を図ってまいります。
- ・アシストハローワークなど多方面での年金制度説明会実施に向け、関係機関との連携を引き続き図ってまいります。
- ・年金事務所に来所された方を始め、年金委員や適用事業所へ「ねんきんネット」利用促進の協力依頼を積極的に進めてまいります。

4 年金委員活動支援事業

(1) 事業の取組状況

① 年金委員の研修会、意見交換会の実施

- ・ 職域型年金委員に対する、全国健康保険協会青森支部と青森、八戸、弘前、むつの各社会保険委員会との共催による研修会は、新型コロナウイルス感染防止のため対面のほかWebを活用して行いました。
また、職域型年金委員向け広報誌「スマイル」、「ねんきんネット」ポスター及び「機構HP(年金委員通信)リニューアルのお知らせを送付することにより活動支援を行いました。
- ・ 11月の年金委員功労者表彰にあわせて実施していた研修会は、新型コロナウイルス感染症防止を優先したため実施できませんでしたが、テレビ会議システムを活用したリモート形式、及びWebを活用した「全国年金委員研修」に、各年金事務所管内から96名の年金委員が参加しました。
また、地域型年金委員の活動を活性化していくため、県単位・地区単位で組織を再構築し、四半期に一回青森県地域型年金委員連絡会・地区連絡会を実施し情報共有、活動の依頼、支援を行っています。

○全国年金委員研修の参加者数（令和4年11月2日開催）

事務所名	オンライン	参集	合計
	職域型	地域型	
青 森	30名	9名	39名
八 戸	20名	6名	26名
弘 前	0名	1名	1名
む つ	29名	1名	30名

② 年金委員表彰の実施

- ・「ねんきん月間」において、多年にわたり年金事業の推進及び発展に貢献された年金委員の方々に対し、新型コロナウイルス感染症防止対策を図ったうえで、年金委員功労者表彰伝達式を開催しました。
- ・開催にあたっては、県内の年金事務所、全国健康保険協会青森支部、一般財団法人青森県社会保険協会、青森県社会保険委員会連合会との共催により実施しました。

○ 開催日 令和4年11月17日(木)

○ 開催場所 ホテル青森

○ 受賞者数 厚生労働大臣表彰 1名

日本年金機構理事長表彰 4名

日本年金機構理事表彰 11名

※共催団体においても、それぞれ表彰を行いました。

○ 表彰伝達式出席者 49名

③年金委員の委嘱拡大に向けた取組み

- 社会保険新規適用事業所に対して、毎月年金委員の推薦依頼を実施しました。
- 一般財団法人青森県社会保険協会が発行する会報誌「社会保険あおもり」(10月号)に「年金委員・健康保険委員」募集の記事掲載の協力をいただきました。
- 既に年金委員が設置されている事業所に対して、複数名の年金委員を推薦していただけるよう、6月に文書による推薦依頼を実施し、新たに20名の推薦をいただくことができました。
- 年金委員の未設置事業所に対して、4月以降文書による年金委員の推薦依頼を実施しました。

○年金委員数の推移

令和 4年11月30日現在

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職域型	1, 429名	1, 426名	1, 445名	1, 618名	1, 695名
地域型	67名	69名	75名	94名	101名
合 計	1, 496名	1, 495名	1, 520名	1, 712名	1, 796名

	実施月	対象	勧奨事業所数	推薦件数
青森	毎月	新規適用事業所	152事業所	10件
	7月	未設置事業所(被保険者10～19名)	618事業所	9件
	11月	未設置事業所(被保険者50名以上)	141事業所	1件
八戸	5月	新規適用事業所	40事業所	1件
	6月	既設置事業所・未設置事業所	1,200事業所	25件
	7月	未設置事業所	61名	1件
弘前	4月	未設置事業所	1,709事業所	5件
	5月	未設置事業所	306事業所	2件
	6月	未設置事業所	66事業所	0件
	8月	未設置事業所	32事業所	0件
むつ	6月	未設置事業所	205事業所	12件

(2) 総括・分析と今後の対策

総括・分析

- ・年金委員委嘱拡大の取組について、職域型年金委員未設置事業所へは文書勧奨等の実施により増えていますが、退職等により解嘱申出があった事業所では後任者の推薦をいただけない場合もあるため、引き続き委嘱者確保に努めてまいります。
- ・地域型年金委員については高齢者が多いため、任期満了時に更新いただけない場合もあり新たな委嘱対象者の掘り起こしが課題となっております。

今後の対策

- ・職域型については、年金委員のメリットをPRしながら、未設置事業所への推薦依頼、既設置事業所には、複数人設置の勧奨を引き続き取り組んでまいります。
- ・地域型については、地域において活動されている方への委嘱拡大を目的に関係機関や市町村広報誌を活用した募集の取組を行ってまいります。

5 「ねんきん月間」「年金の日」の取組状況

日本年金機構は、厚生労働省と協力して国民の皆さまに公的年金を身近に感じていただき、年金制度に対する理解を深めていただくよう、11月を「ねんきん月間」と位置付け、公的年金制度の普及・啓発活動を展開してきました。

また、国民お一人お一人に「ねんきんネット」を利用して年金記録や年金受給見込額を確認していただき、高齢期に備え、その生活設計に思いを巡らしていただくことを目的として、厚生労働省において、平成26年度より11月30日(いいみらい)を「年金の日」に制定し、公的年金制度に対する理解を深めていただく取組を実施しています。

「ねんきん月間」

- ・「全国年金委員研修」はコロナ禍により各年金事務所において感染症予防対策を講じたうえで、テレビ会議システムを活用したリモート形式及びWeb会議サービスを活用して開催し、全国の多くの年金委員が参加することができました。
- ・各市町村へ「年金の日」ポスター、「ねんきん月間」チラシ、「ねんきんネット」リーフレットを送付し協力依頼を実施しました。

※ 各年金事務所における取組(詳細)については、21～24ページを参照。

「年金の日」

事務所名	取組場所	取組内容
青 森	管内市町村	予約相談ポスター・リーフレットの掲示等依頼
八 戸	三戸町役場	国民年金制度について研修会を実施

6 各年金事務所の取組状況

青森年金事務所の取組

《ねんきん月間の取組結果》

- 管内高等学校における年金セミナーの実施。
- 例年、青森市郊外大型商業施設において実施していた、「年金の日」「ねんきんネット」「予約相談」等のチラシ配布は、新型コロナウイルス感染症防止により中止したため、店舗へのチラシ設置等の協力依頼を実施。
- 県政記者クラブへ「年金月間」、「年金委員功労者表彰式の開催」に係る情報提供を実施。
- 七戸町において、出張年金相談所を開設。
- 職域型年金委員へ、「ねんきんネット」の利用勧奨文書を送付。

《その他の主な取組結果》

- 管内市町村を訪問し「予約による年金相談」周知用チラシの設置・ポスター掲示の協力依頼を実施。
- 年金委員委嘱拡大の取組として、新規適用事業所へ文書にて推薦依頼。
また、年金委員の未設置事業所に対して、文書にて推薦依頼。
- 地域型年金委員へ「広報誌(支えあい)」及び「情報提供資料(各種チラシ)」を送付。
- 青森県年金ポスターコンクールの入賞者へ訪問による表彰状の授与を実施。

八戸年金事務所の取組

保育園児による 児童画の展示

《ねんきん月間の取組結果》

- 年金事務所内で近隣の保育園児による児童画を展示。
- 年金事務所において国民年金保険料の免除相談会を開催。
- 例年どおり、管内専門学校及び高等学校へのアプローチを進め、24校(2,800名弱)より申込みをいただきました。対面または動画視聴にて年金セミナーを実施。
- 十和田市において、出張年金相談を実施。
- 八戸市において職域型年金委員全体研修会を実施。
アクセスキーの発行及びID取得勧奨を実施。
- 職域型年金委員の委嘱拡大として、事業所へ推薦依頼文書を送付。



《その他の主な取組結果》

- 職域型年金委員の未設置事業所に対して委嘱勧奨を実施。
- 第2回年金ポスターコンクールに管内中学校より積極的に参加いただき(3校より3作品) 優秀賞・東北厚生局長賞を受賞しました。受賞作品は八戸市内の商業施設に展示し、一般市民に鑑賞いただきました。
- 田子町において、ケーブルテレビを活用した制度広報等を実施。

弘前年金事務所の取組

《ねんきん月間の取組結果》

- 管内高等学校における年金セミナーの実施。
- 五所川原市、つがる市において、出張年金相談を実施。
- リモート形式で開催された全国年金委員研修に地域型年金委員1名が参加。
- 職域型年金委員及び地域型年金委員へ、「年金の日」のポスターを送付し掲示等協力依頼を実施。

《その他の主な取組結果》

- 年金委員委嘱拡大の取組として、年金委員の未設置事業所に対して推薦依頼文書を送付。
- 管内事業所に対し、「ねんきんネット」周知用リーフレット等を送付し、アクセスキー発行申込書の提出依頼を実施。

むつ年金事務所の取組

《ねんきん月間の取組結果》

- 全年金委員に対し、全国年金委員研修開催案内を送付し年金委員30名(職域型29名、地域型1名)が参加。
- 市町村担当者に対し、制度説明会を実施。
- 職域型年金委員へ研修会資料及び電子申請案内、アクセスキー申込書、予約相談チラシを送付。
- 地域型年金委員に対し広報誌を送付。

《その他の主な取組結果》

- 職域型年金委員の未設置事業所あてに、年金委員の推薦依頼の勧奨を実施。
- 事業所へ、電子申請案内、アクセスキー申込書、予約相談チラシを送付し利用登録等の協力依頼を実施。
- 初任者社会保険事務講習会において、予約年金相談の周知及び、年金委員推薦の依頼を実施。

7 第2回青森県年金ポスターコンクールの取組状況

○厚生労働省東北厚生局、青森県教育委員会、株式会社東奥日報社、青森県社会保険労務士会、一般財団法人青森県社会保険協会に後援をいただき、県内の中学生を対象に公的年金を身近に感じていただくため、年金をテーマとしたポスターを作成いただきました。

【募集期間】 令和4年6月14日～令和4年9月16日

【賞】 最優秀賞1点、優秀賞3点、入選8点、特別賞(厚生労働省東北厚生局長賞)1点

【応募状況】 応募校7校、17作品

入賞者には各年金事務所において中学校を訪問し表彰を行いました。また、青森県内各地の商業施設へポスター展示にご協力いただきました。

イトーヨーカ堂青森店での展示



八戸ショッピングセンターラピアでの展示



8 青森県地域年金事業運営調整会議

地域住民の公的年金制度に対する理解をより深め、制度への加入や国民年金保険料納付の向上に繋がるよう地域における支援のネットワークを構築し、地域に根ざした年金事業の積極的な推進を図ることを目的として、地域年金事業運営調整会議を開催しました。

<第20回会議>

【開催日】

- ・令和4年7月（書面開催）

【議事内容】

- ・令和3年度青森県地域年金展開事業 取組報告
- ・令和4年度青森県地域年金展開事業 事業計画

<第21回会議>

【開催日】

- ・令和5年1月

【議事内容】

- ・令和4年度青森県地域年金展開事業 取組状況
- ・令和5年度青森県地域年金展開事業 事業計画(案)